

『ヤドランカさんのこと』

ヤドランカさんはサラエボ出身の国民的歌手です。長い間日本で活動していました。サラエボ冬季オリンピックのテーマ曲を歌ったことでも知られ、日本でいえば美空ひばりさんのような方。彼女はサズという民族楽器を奏でながら歌います。

ルーツが同じ琵琶とサズですが、そんな私たちの縁をつないで下さったのは作曲家の神津善行先生でした。私はその歌声にすっかり魅せられ、すぐに彼女の所属事務所を訪ね、とにかく何か一緒にやってみたくて申し出ました。すぐに意気投合。曲を作り、アルバムを作り、国内外で20年以上共演を重ねてきました。音楽の輪はどんどん広がって、[びかむ]（尺八の坂田梁山・琵琶の坂田美子・箏の稲葉美和・パーカッションの木村たかのぶの4人のユニット）ともフランスツアーを、稲葉美和とのトリオでも、ボスニア、クロアチアツアーをしました。



もともと日本が大好きな彼女ですが、実は日本に滞在中に自国が戦争になり、帰国できなくなってしまったのです。その間に母親も亡くしてしまいました。でも彼女が日本にしてくれたおかげで、私達は言葉や年齢や国籍の違いを超え一緒に音楽をし、そして大切な友達となりました。

そんな彼女は今、難病 ALS との診断を受け、バニャルーカの地で闘病生活を送っています。次第に筋力が弱くなり、自分で起き上がることも、普通の食事をとることもできなくなってきました。歌うこともサズを弾くことも、もうできません。ヤドさんに会いたい、会いに行こう、[びかむ]の音楽を届けよう、そんなメンバーの気持ちが一つになって、今年5月に[びかむ]はボスニアに行きます。いろいろと動いているうちに、せっかく行くなら現地でヤドさんのためのチャリティコンサートを開いてはどうかとの提案を在日ボスニア大使がして下さい、ヤドさんのご了解も得て、バニャルーカ市長からの正式な招聘もいただきました。

そこで日本でも何かできることはないかと探るうちに、ヤドさんがプロデュースしてくれた[びかむ]の最初のアルバム『七つの海』の中から、共演や編曲してくれた3曲（津軽山唄、火の螢、竹田の子守唄）をピックアップして、CDを作ることを思いつきました。CDは1枚500円で販売しています。売上げ金は、ヤドさんが欲しがっている日本のおかゆや、黒ごま黄な粉、また湿布薬等の購入費や送料に使わせていただき、余剰が出れば現金としても届けてきたいと考えています。また、私たちの渡航費は現在のところ国際交流基金に申請中ですが、もし申請が通らなかった場合は渡航費や楽器運搬費の補助金としても使わせていただければあり難いと思っています。



長年の間日本で活動していたので、ヤドランカさんを知っている方も多と思いますし、コンサートに足を運ばれた方もいることと思います。もし、難病と闘う彼女へのメッセージなどを届けたいという方がいらしたら、下記へご連絡くださいませ。可能な限り、沢山の日本の皆様のお気持ちを届けてきたいと思っております。日本が大好きだったヤドランカさんです。日本からのメッセージはきっと闘病生活を送るうえで大きな励みになるのではないのでしょうか？

どうぞよろしくお願い申し上げます。

坂田美子
With 坂田梁山 稲葉美和 木村たかのぶ

電話 : 080-1364-8585
biwauta@mtd.biglobe.ne.jp